

交通・地域計画学領域

研究テーマ

当研究室では、今後の社会ニーズに対応する交通システムのプランニングと、地域の活力および安全・安心を高めるための都市・交通空間のデザインを行っています。

1 人や環境に優しい「コンパクト&ネットワーク」型の将来都市と交通体系を導く計画技術を開発しています。

2 高速道路などで発生する交通渋滞や事故の解決を目指し、ドライビングシミュレーターを用いた交通現象の分析なども行っています。

3 地域でのモビリティの確保を目指し、地域住民と協力した公共交通システムや傷病・障がい者などに対応した移動・移送サービスなどに関する研究を進めています。

スタッフ

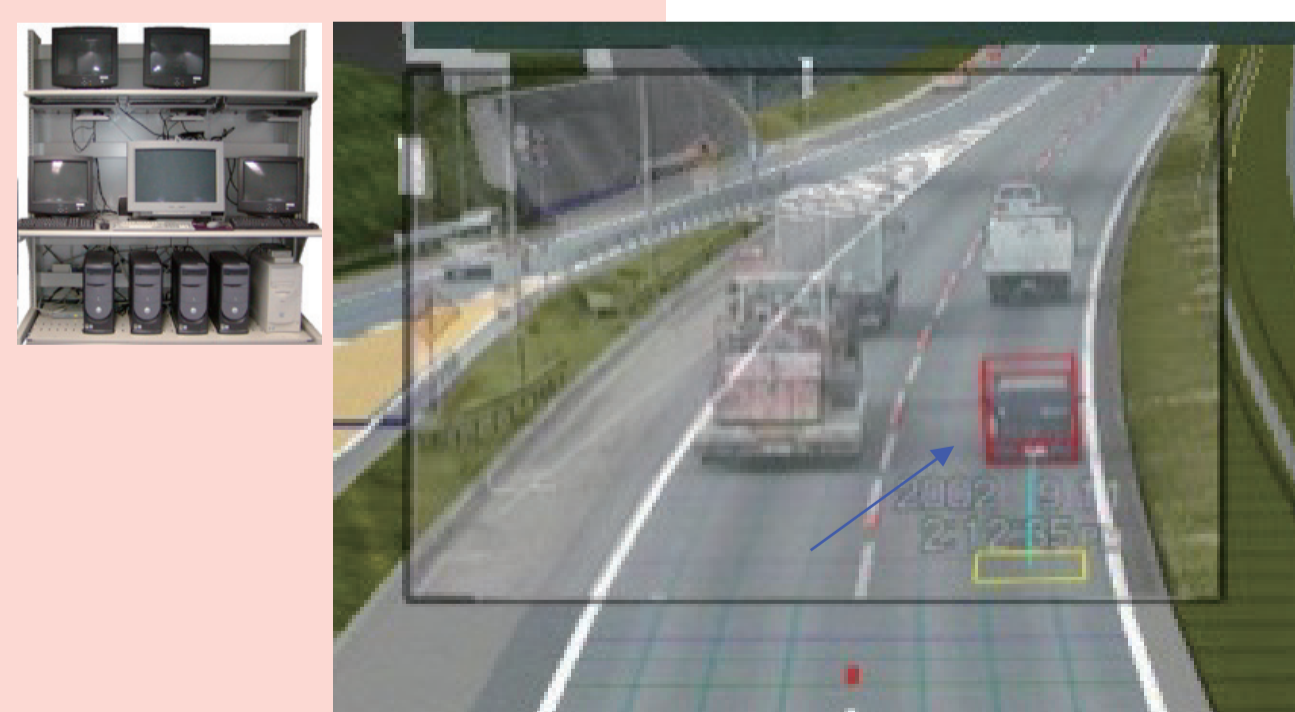
土井健司教授、飯田克弘准教授、猪井博登助教

Webpage

<http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/plan/index.htm>

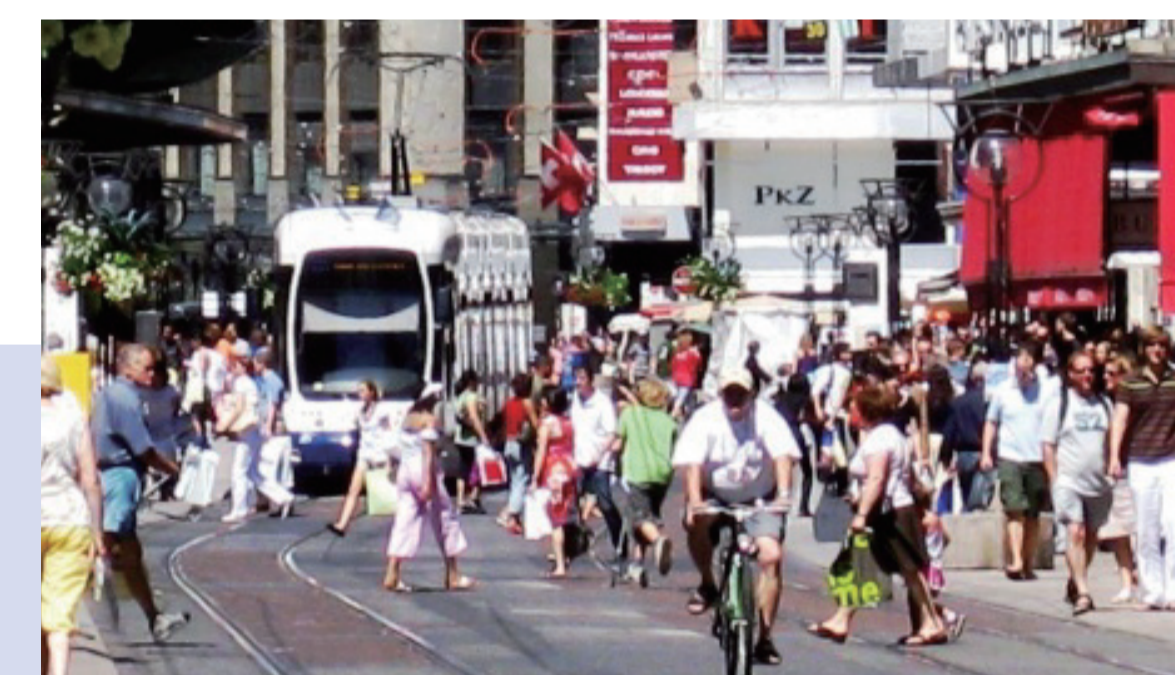
【持続可能な社会を支える都市交通システムの評価と提案】

- 人口減少下における都市交通の持続可能性の評価
- 自転車・歩行者を優先した地区交通計画の提案



【交通調査のためのヴァーチャル・リアリティ(VR)技術】

- ドライビングシミュレーターを用いた交通現象分析



【高齢者・障がい者の社会参加を促す都市および交通計画】

- 福祉やQoLの視点を組み込んだ都市・交通のプランニング
- 地域住民によって運営される